

BERCニュース

欧州のCSR活動ふまえて

第6回国際シンポジウム

定員超す参加、高まる関心

第6回「経営倫理」国際シンポジウムが、二〇〇三年十一月二十一日、東京・国際文化会館で開かれた。今回のテーマは「企業の持続的成長と経営倫理」最近の欧州におけるCSR活動をふまえて。

水谷雅一会長の開会挨拶につづき、特別講演とパネルディスカッションがあった。例年、同会館を会場に開かれているが、今回は定員百二十人を超える参加者があり、本テーマへの

「CSRヨーロッパ」のCSRに関する欧州企業のネットワークの構築を目的に、一九九五年に創設された団体

ベルギー・ブリュッセルを拠点に、欧州12カ国にわたる企業、関連団体にベスト・プラクティスなどCSRに関するさまざまな情報の提供はじめ、マネージャー研修や企業のCSR能力向上プログラムなどの活動を続けている。

を紹介、投資行動も社会責任が重視される(CRI)ことを強調した。



特別講演するカテリーン・ベッセル氏

この後、パネル討議に移り、ベッセル氏はじめ、ダリル・ケーン(米国セント・トーマス大学教授)、ロバート・グロンディン(前在日米商工会議所会頭)、佐伯貴志(富士ゼロックス調査部マネージャ)

関心の高さをうかがわれた。経営倫理実践研究センター(BERC)主催。日本経済団体連合会の協賛。特別講演は、カテリーン・ベッセル氏(CSRヨーロッパ・シニアディレクター)による「ヨーロッパにおけるCSR」。企業の社会的責任のあり方、今後の課題など具体的に話した。同氏は、経営倫理、環境保護、地域との共生、情

素平さんから、国際大学の仕事を頼まれてしまったんです。同友会の代表幹事のときは副理事長としてそこそこ協力してきたのですが、辞めたらすぐに中山さんが来て理事長をやれというのです。九十七歳の中山さん

がCSRと本格的に取り組むことで、収益性、成長性、ヒューマンな進歩の達成が可能であることが、共通認識として理解された。パネル討議の後半では、会場から活発な質問、意見が相次ぎ、参加企業やその関係者の意識の高まり、関

心の高さが感じられた。6回目を迎えたこの国際シンポジウム・パネル討議では、これまで「経営倫理」とグローバルスタンダード(第一回)、「経営倫理に関する基軸三国間の協力について」(第二回)、「日・韓・中 経営倫理実践の協力体制について」(第五回)

トップが語る

富士ゼロックス会長

小林陽太郎さん



こばやし・ようたろう 富士写真フィルムの小林節太郎社長の長男としてロンドンに生まれる。慶応大経済学部卒。富士写真フィルムに入社、5年後に富士ゼロックスに転じる。78年社長、92年会長。99年から03年まで経済同友会代表幹事。70歳。

「〇三年四月に北城恪太

郎・日本アイビーエム会長にバトンタッチしたので暇にならなかつたのですが、他の仕事が増えてきて忙し

いことは以前と変わりません。もともと同友会には半年で二回しか行っていません。忙しくなつたのは中山

に頼まれたら仕方がないです。国際大学の経営は順調ですか。

「二十年前に日本の企業から学生を出してもらって七〇%が日本人、三〇%が外国人ということですが、不景気でトしたのですが、不景気で

います。五十数カ国から来ています。日本にきている留学生は十万人でこのうち六割が中国人。国際大学にも今年百五十人のうち十人

が中国人でした。多いですね。新学長にアジア経済研究所の所長だった山沢逸平さんに来てもらいました。

と書いています。自分が他の人からやってもらいたいことをやり、他人からやってもらいたくないことはしない、ということ。ある会社で営業マンの総決起集会が開かれ、会長はじめ幹部が「ガンバロー」と言った時、副社長が会長に「こういう時期なので一つ企業倫理の話でも」と言ったら、「バカ。こういうときにはさういふこととは言うものではない。雰囲気こわれてしまつ」と言ったという。まったくそのうです。企業倫理というのはあたりまえのことをあたりまえにするということができます。まじめに。」

経営倫理 当たり前前の事をする

「国際大学の経営は順調ですか。」

「二十年前に日本の企業から学生を出してもらって七〇%が日本人、三〇%が外国人ということですが、不景気でトしたのですが、不景気で

います。五十数カ国から来ています。日本にきている留学生は十万人でこのうち六割が中国人。国際大学にも今年百五十人のうち十人

が中国人でした。多いですね。新学長にアジア経済研究所の所長だった山沢逸平さんに来てもらいました。

と書いています。自分が他の人からやってもらいたいことをやり、他人からやってもらいたくないことはしない、ということ。ある会社で営業マンの総決起集会が開かれ、会長はじめ幹部が「ガンバロー」と言った時、副社長が会長に「こういう時期なので一つ企業倫理の話でも」と言ったら、「バカ。こういうときにはさういふこととは言うものではない。雰囲気こわれてしまつ」と言ったという。まったくそのうです。企業倫理というのはあたりまえのことをあたりまえにするということができます。まじめに。」

と書いています。自分が他の人からやってもらいたいことをやり、他人からやってもらいたくないことはしない、ということ。ある会社で営業マンの総決起集会が開かれ、会長はじめ幹部が「ガンバロー」と言った時、副社長が会長に「こういう時期なので一つ企業倫理の話でも」と言ったら、「バカ。こういうときにはさういふこととは言うものではない。雰囲気こわれてしまつ」と言ったという。まったくそのうです。企業倫理というのはあたりまえのことをあたりまえにするということができます。まじめに。」



第6回「経営倫理」国際シンポジウム「企業の持続的成長と経営倫理」～最近の欧州におけるCSR活動をふまえて～

- BERC新入会員社の紹介
①企業名 ②資本金 ③代表取締役 ④経営者 ⑤最高責任者 ⑥従業員数
泰(専務取締役) 資本金 1000万円
長 1000万円
①理研ビタミン ②二五億 ③七〇〇万円 ④堺美保 ⑤約一〇〇〇名
①サントリー ②三〇〇億 ③佐治信忠 ④鳥井信吾(取締役) ⑤約一〇六〇〇名
①王子製紙 ②一〇三八億 ③鈴木正一郎 ④江利幸(取締役) ⑤約六〇〇名
①小松製作所 ②六七八億 ③(連結)七〇一億 ④(単独)坂根正弘 ⑤姉崎直己(専務執行役員) ⑥約五八〇〇名
①凸版印刷 ②一〇四九億 ③足立直樹 ④石田正

事例研究など

BERC集中講座

経営倫理・短期集中講座が二〇〇三年十一月十日、十一日の両日、虎ノ門パスホールで開かれた。一日目の午前中は、BERC主任研究員・梅津光弘氏による最近の動向を踏まえた総論。午後からは、BERC主任研究員・田中宏司

こうした教養というものを学ぶこともなく社会に出てしまふ。明治生まれの人が経営者として残っている時、それはそれで良かったが、歳をとっていなくなるとバランスがとれなくなる。そういう時にBERCでもう一度勉強し直そうということになる。」

「最後にいろいろ企業の不祥事が続いています。企業倫理って何なんでしょうか。この前に米国で面白い本を見つけた。『企業倫理なんかはない』(There is no such business ethics)という本です。この中で企業倫理というところについて、あたりまえのことをあたりまえにするということができます。まじめに。」

インタビュアー：経済ジャーナリスト 阿部 和義

サービス残業増加傾向に

労基署へ訴え、最多の3万件

働きすぎが世界中から批難されている日本。労働時間が先進国の中で世界で一番長い日本では、過労死とともにサービス残業が大きな問題になっている。

サービス残業は賃金が支払われない残業のことを指し、厚生労働省は「賃金不払い残業」と呼んでいる。労働基準法では一日八時間、一週四十時間を法定労働時間として、これを超える時間外労働をさせた場合には、会社はその

時間に応じて割り増し(二割五分以上)を含んで賃金を支払うように決めている。最初には大きな問題になったのは消費者金融業界トップの「武富士」のサービス残業だ。

東京証券取引所第一部上場の会社でもあり内外

裁に残業代の支払いを求めて訴えたことから。それから大阪労働基準監督署が〇三年一月に本社などを捜査し、二月に御木さんらに武富士が謝罪して今回の支払いになった。

武富士は業界のトップだけに貸付金に対する回収の仕事が厳しく、毎月末になると遅くまで仕事をしないと帰れないというのが常態

〇二年に全国の労働基準監督署で是正指導した件数は約一万七千件で過去三十年で最多であり、十年前に比べると二倍以上に増えている。労基署が悪質なケースとして書類送検した件数は前年より増えて四十

九件もある。労働者の意識が過労死と同様にサービス残業についても高まってきていることもあり、〇二年には労基署への訴えが三万件を超えて過去最多になった。(阿)

それによるとコーポレートガバナンスが最も進んでいる国はカナダで、2位は英国。日本は、調査対象となつた先進十四カ国で最下位という厳しい評価となつた。

この調査は、コーポレートガバナンスの進展度につ

社会貢献活動の現場から②

「私たちは働きたいのです。ここでは在宅型勤務(SOHO)なので、自分の体調に合わせて、仕事が出る。少しずつ自分の得意技もできてきた。仕事が評価され、次々とオーダーがくる時は、本当にやりがいがある。」と沖電気工業社会貢献推進室(OKIネット・ワークス)所属の田中真一さんは、話す。

沖電気工業

障害者雇用(法定雇用率一・八%)が不況のあおりで伸び悩んでいるが、一部で前向きに取り組む企業も始めている。その中でも沖電気工業の社会貢献推進室(木村良二室長)の先進的活動が注目されている。同社の活動が評価されるのは社内専門組織を作り、障害者を戦力化、企業との協働化に成功したこと



「沖電気工業・社長ホームページ」を作った田中真一さん(左)と握手する篠塚勝正社長

だ。特色は①上下肢とも障害のある通勤不可能なIT技術者の集団②SE的コラーネーター2名が専任でクライアントの対応や指導に当たっている③仕事はホームページやプログラム作成など④当初は沖電気グループ各社の仕事を手がけていたが、グループ外企業の受注も入り始めた。

一九九六年四月に社会貢献推進室が発足、九年六月、在宅勤務障害者は三人だった。その後は少しずつ増員、〇三年末でメンバーは十二名に。年令は二十一歳から三十八歳まで、ほとんどが都内在住。同社が意欲的なのは、今春、さらに数名採用予定していること。

このSOHOシステムは健康管理面で障害者へのメリットは大きい。体調が良くない時など、直ぐベッドに横になれる。また通勤による肉体的、精神的負担がないため、仕事へ集中することも出来る。本人のみならず、介助に当たる家族への効果も無視できない。

木村良二室長は「仕事を通して障害者の方々は生きがいを感じている。納期や品質など厳しいビジネスの基本への自覚もあり、信頼が確立されつつある。障害者雇用は、現在、厳しい状況にあるが、障害者が企業と社会につながりが持てる環境を作ることが、大切」と話している。(陶)

車のメーカーが新車を発表するとき、最近はその会社の社長と一緒に写真に収まっているのを見ることが多い。昔はこういう場面ではミニスカートの若い女性が横にいたものだった。今は飾り物の感覚から脱して、会社の代表者が、顔を出してユーザーに呼びかけているような印象を与える。単にイメージに過ぎないのだが、姿勢としてはまあ良いのではないか。

銀行の頭取が交代したときに、店頭で大きな写真を飾って「ごあいさつ」を掲げるのがはやった。「親しめる銀行」のようなイメージ作り戦略の中から出て来たものだろう。これも実態はともかくとして、意欲は評価出来る。

トップの姿勢 頭下げれば 済む事か...

最近、企業のトップが記者会見で、申し訳ないと頭を下げているのに出会う。視聴率を買収したテレビ局とか、自動車整備士の試験問題を横流しした自動車メーカーだとか、業界の首位

にあつた会社が、申し開きの出来ないような不正で、まさに点数を稼いでいたのが明らかになって、トップが頭を下げる。会社を代表する立場の人が頭を下げたのだから、最高の謝罪をしたというつもりかもしれない。しかしファストフードの店員が繰り返す不正を犯しても構わないという意識の中から、出るべくして出てきたのではないのか。

不祥事が明らかになったことで彼らはクビになって、一件落着く。しかし彼らを生み出した企業の常識は見えなくなるのだろうか。トップの両脇に担当役員が並んで頭を下げて、会社の方もこれで一件落着くと考えているのではないか。トップのお辞儀が白々しく見える、そんなことにイライラするのはこちらの常識がずれているのだろうか。(朗)

日本は先進 国で最下位

米国の民間調査会社のガバナンス・メトリック・インターナショナルがこのほど、コーポレートガバナンス(企業統治)の格付け調査の結果を発表した。

日本は、日経平均株価を構成する二百二十五社を調べたところ、平均点が三・五と最も低かった。この調査では、日本企業の低評価の理由として企業の情報開示の遅れと社外役員数の少なさを挙げている。

入会の申し込み 経営倫理実践研究センターで賛助会員の入会申し込みを受け付けている。

▽年会費五十万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。
申し込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。
電話 03(5413)5897
FAX 03(5413)5898

変わり始めた経営姿勢

株主や投資家を重視

「総会」もIRRの一環として

二〇〇三年は、改正商法に基づく「委員会等設置会社」が生まれるなど、株式会社あり方が大きく変わるきっかけとなる年だった。経営者のコーポレート・ガバナンス(企業統治)に対する意識も部分的ながら変わり始めた。

への取り組み方を見ると、変化が実感できる。

二〇〇三年の株主総会では、シャンシャン総会をよしとする空気は、少なくとも主要企業では薄れた。総会を警戒して同じ日に九〇%超の三月決算企業が総会を開くという異常な状態は改められつつある。商事法務研究会がまとめた〇三年版「株主総会白書」によると、「他社と開催日時を合わせる」と調査に答えた企業は二五・九%で前年比三・二ポイント減だった。「集中日をできるだけ避ける」という回答は一八・七%で同四・六ポイント増えた。

〇三年の集中日六月二十七日開催の総会は七〇%を割った。

同日書によれば、「株主総会をIRRの一環として考え実践している」と回答する企業が二二・九%を占め、前年より一・八ポイント増えている。昨年は日産自動車のカルロス・ゴーン社長兼CEO(最高経営責任者)が総会後の株主懇談会で株主と談笑する写真が報じられて目を引いた。

突然死 4万人 年間 救命機器の普及

救命機器の普及 企業も設置取り組みを

「心臓突然死」により亡くなる人が、国内で年間四万人前後、毎日約百人にもなっている、という。原因の多くは、重い不整脈「心室細動」だ。

助かるには現在、電気ショックが唯一の方法となっている。が、簡単に使える機器の普及は海外に比べて遅れている。法律や体制を一日も早く整え、機器を使いやすくする必要がある。

二〇〇二年十一月、高円宮さまが運動中に急逝した。〇三年六月にはカメルーンのサッカー選手が試合中に死亡した。いずれも心臓突然死による、とみられることから社会的な関心が高まった。

心臓は一日に約十回、筋肉が収縮と拡張を繰り返して、血液を全身に送り出すポンプの役割を果たしている。この筋肉が、けいれんしたように震えて起きる不整脈が心臓突然死の多くに見られる。症状が重くなると心室細動に陥り心停止に到る。

電気ショックを与えれば、正常な鼓動を取り戻す可能性は高い。電気ショックで心室細動を除く機器が自動体外式除細動器(AED)だ。電極を胸に張ると、コンピューターが心電図を自動的に解析し、除細動の適否を判断する。操作は音声による指示に従って行うので専門的な知識は必要ない。小学生でも操作できる。簡単に安全、しかも救命効果が高いのがAEDの利点だ。

AEDは欧米では三年ほど前から普及し、空港、駅、競技場、学校など公共施設に備えられている。小型で、街頭消火器のように置かれ、気軽に使える。心臓突然死からの救命は時間との闘いだ。一分遅れば救命率は一〇%下ると言われる。十分たつたらまず助からないという「壁」が立ちふさがる。救急車が到着する前に、市民がAEDを使うことで多くの命が救われる。

除細動器の使用はこれまで、国内では医師と航空機

明記している。以下、執行役員制の導入、経営の透明性確保、業績連動型報酬制度の拡充、違法経営の徹底と、各論を記載している。しかしまだほとんどの企業では「株主」の位置付けがあいまいである。コーポレート・ガバナンスの目的を単に「法令遵守」や「公正な企業活動」などと書いている例が少なくない。とはいえ、多くの企業は、資本市場のグローバル化が進み株式の相互持合いが崩れ

る中で、機関投資家や個人株主を重視せざるを得ない状況に追い込まれている。上場企業の経営者は今後、株主や投資家の支持を取り付けるために、今以上に努力しなければならぬ。それが上辺だけのものか、企業の理念に根ざしたものか、市場の中で問われ、長期的に企業の成長を左右することになるだろう。

森 一夫

日本経営倫理学会の活動

活発な関西研究会

フォーラム等33回開く

関西研究会は一九九六年に発足した。その間、研究会の実施回数は(関西フォーラム等入れて)〇三年十一月三日に行われた「市場経済システムの経営倫理(島本美智男・追手門学院大学)で三十三回。会員数は現在約六十名。会員の内訳は学者より実務家が多いのが特徴だ。活動内容は通常の研究会を年に三回(発表者一人)を年一回開き、幅広く活動している。一九九九年から現在まで三回実施してきた。テーマは第一回「環境経営と経営倫理」、第二回「IT革命と経営倫理」、第三回「教育問題と経営倫理」。学会本部から第一回は高嶺(麗澤大学)



学会10周年を記念して開かれた関西研究会の講演会

第二回梅津光弘(慶応義塾大学) 第三回小林俊治(早稲田大学) 各先生が基

調講演。更に実業界、教育界等からテーマに応じた学識経験者を招いてパネル

ディスカッションを行っている。昨年(一九九九年)は日本経営倫理学会創立十周年記念事業の一環として、中部地区研究会と共催で「一〇周年記念講演会(大阪国際会議場)を開催した。毛邦傑氏(米国籍・米国キャピタルエンプライズCEO、中国安徽大学客員教授)を迎え、「国際経営と経営倫理」のテーマでの講演。

今年(二〇〇三年)のテーマは「今、改めて問い直すコンプライアンス経営」消費者重視経営の観点。当日は、本学会の田中宏司理事(立教大学教授)が講師として出席、「雪印乳業の行動基準」などをとり上げ、実践的なケースを紹介、解説した。

中部地区研究会は二〇〇〇年秋に発足、高校、大学の教員、研究者やビジネスマンなど現在二〇を超す会員がいる。

第8回目の中部地区研究会

中部地区の第8回研究会

研究会の活動

Compliance Management

コンプライアンス経営

田中宏司 著

倫理綱領の策定と実践

企業倫理の基準は何か?

倫理綱領の作り方・使い方
グローバル・スタンダードに合致する企業経営

生産性出版 A5判 258頁 本体2,400円(税別)

「現代社会の倫理を考える」

3 ビジネスの倫理学

梅津光弘 [著] 加藤尚武・立花 隆 [監修]

倫理的なビジネスの実現!!

これが21世紀に生き残る企業のキーワードだ

「ビジネス倫理」こそが企業の将来を決める!
「現代社会の倫理を考える」(第1期全10巻)刊行開始!!

丸善株式会社 変B6判 186頁 本体1,900円(税別)

読者からの情報提供、問い合わせ、取材依頼等は下記へ。

BERCニュース編集部
Tel 03-5413-5897
Fax 03-5413-5898
E-mail:berc@gol.com

血尿事件を契機として回復後は軽めの仕事ならやってみようという気持ちで次第に強くなってきた頃、偶々、神奈川大学(本部横浜)が新しく平塚にも広大なキャンパスを設けて経営学部を

回顧随想 <2>

ライフ・ワークとしての経営倫理

BERC会長 水谷雅一



企業人からの転身

新設するので労務管理や人的資源論を教えられる実務経験のある人材を求めて、ある友人を通じて私に打診が寄せられた。企業勤めのサラリーマンの激務と違って大学の先生なら週何回か

私には実は遠因を含めて次の三つの原因があった。その一つ目は、旧制の大学を卒業する際の進路に大変迷った挙句、最終的には企業に就職する途を選択したのだが、ゼミの指導教官(柳川昇東大教授)の下で大学の研究生活を続けることにも大きな魅力を感じていた。当時(昭和二十七年頃)の世相は朝鮮特需によ

って経済は戦後復興の緒に付いたばかりで極度の食糧難の最中であつたため、大学に残る途について両親を筆頭に親族から猛反対を受けた。この世の中で、霞を喰って生きてゆくわけにはゆかないと諭されてやむなく企業へ就職せざるを得なかったことである。案の定、企業の中での入社直後のサラリーマンにとって下積み

の単純業務生活には辟易して、入社後二三年の間は何時辞めようかと想い乍ら辞表を懐にして通勤していた。実社会の経験も何れは役に立つだろうからと自分に強く言い聞かせ乍らサラリーマン生活を続けていたが、心の中の片隅には大学の研究や学生への教育の生活に憧れのような気持ちが続いていたことが転身の

決断に大きく作用したものである。第二の原因は、サラリーマンの激務生活の中でも研究活動に出来る限り励むように心掛けていたことである。大学時代に経営学を専攻し、当時はまだ珍しかった「アメリカ経営学」(古川栄一著)を読んで費用論を中心としたドイツ経営学とは別した新しい流れのある

今、会社や役所に勤めるサラリーマンは、昼食後の昼休みをどう過ごしているのだろうか。喫茶店、ショッピング、読書、昼寝、その他ひとさまざまだが、腹ごなしに軽いスポーツというのがあるかも知れない。しかし、戸外でキャッチボールに興じている姿は、最近ではまず見たことがない。昔、といったものはや大昔といったほうがいいかも知れないが、戦後の一九四〇年代から六〇年代あたりに

に興味と関心を深めていったことが、大学の教授生活への転身に殆ど抵抗を感じなかった原因と言えよう。(転身の三番目の原因については次号で述べたい。)

私は、いま、「企業倫理と社会的責任」に関する研究のため、バッキンガム大学に滞在している。本大学は、英国で唯一の政府に依存しない大学であること、そしてかの、マーガレット・サッチャーが名

「バッキンガム・ハウス」をジョージ三世が一七六一年に購入し、一八三七年にピクトリア女王が即位と同時に移り住むことになった。英国では、このように古い建物だけではなく、その名称も継承している場合が一般的である。この国では家の資産価値はほとんど下がらないといふことなので、そうすることが価値の増大に繋がる、と言う考えもあるかもしれない。

いまだきビジネスマンは... 当世勤人氣質 <2>

赤瀬川 隼

昼休みの風景

野球の人氣が世代を経るにつれ相対的に落ちてきたことや、街の交通量の増大ももちろんあるが、時代とともに職場での仕事の進め方や人間関係が微妙に変化してきたこともあげられはしまいか。コンピューターを中心とする合理化で、人間にゆとりを生むはずなのに、かえってそのゆとりが失われ、仕事が細分化して個人的な目標やノルマが増えたため、同僚や先輩後輩との、仕事に直接関係ない会話や談笑の機会も減った。ただ、そうして実話やツチボールは、こうして会話や談笑の延長上、というよりそのアナロジーでもあるのだ。ゆとりある無言のコミュニケーションであり、気分が合わなければうまくいかない。ボールは「ことば」であり、彼れはお互いに相手の投げかけることばをキャッチするのだ。ボールを投げる行為が主体のように、スローとかピッチとかいわずキャッチボールという。アメリカでもさうだ。プレー・キャッチという。投げるほうは相手の構えるグローブがけて捕りやすそうなるボールを投げる。相手はそれをしっかりと受け止める。悪送球になったりグローブからこぼしたりすれば後味が悪い。

会員社の関連人事

△アジア航測▽経営倫理担当最高責任者・常務取締役・横田耕治▽退任・横田道生(代表取締役、専務取締役) 〓03年12月18日付

編集後記

▽昨年11月に開かれたBERC国際シンポジウムは6回目。企業、関係者の関心は年々高まってきていたが、今回も定員をオーバーする参加があった。

▽会場(東京・国際文化会館ホール)にあふれた参加者のため急遽、通路にパイプイスを出して対応。特別講演とシンポジウムの終盤では会場から次々と発言が続き、緊張感にあふれていた。

▽閉会後の懇談で、特別講演者のカテリーン・ベッセルさんが「CSRは、いま取り組まなければ...」と熱く話していたのが印象的だった。(千)

シネマ談話室

昨年、印象に残るさまざまな引退劇があつた。政府の対米政策について意見具申した「さらば外務省!」のレバノン大使・天木直人、列島を熱

狂に巻き込んだ阪神タイガース・星野仙一監督。両氏の引き際には、実利を超えた美学を感じたものだ。

一方、日本道路公団の

女優・原節子の引き際

原は、前回、この欄で紹介した小津安二郎監督の傑作「晩春」「麦秋」「東京物語」で主役を張り、小津芸術の大輪となった。「日本映画ベスト150」(文春文庫)では、評論家や作家らが原をナンバーワン女優に選び、「キネマ

てぬ夢である」とまで。それほどの女優が、敬愛の(昭和三十八年十二月十二日)以後、銀幕から姿を消した。ただでなく、マスメディアや世間の前から消えた。記者会見ひとつ

津に殉じて、原も独身のまま隠棲した」といふ読みだ。その思いが彼女に「永遠の聖女」の称号を贈った。自らを「伝説」に閉じ込め、今も小津監督を守るように鎌倉・浄明寺にひっそり暮らす原節子。希有な引き際というべきだろう。(エッセイスト 服部 宏)

イングランド便り バッキンガムの町を歩いて



歴史の重みを感じさせるバッキンガム大の教会

この感覚ないし、生き生きとした慣習は、倫理について考える際に欠かせざる論点の一つだと思ふ。 桃山学院大学教授 谷口 照三

この国では一般的である。この国では家の資産価値はほとんど下がらないといふことなので、そうすることが価値の増大に繋がる、と言う考えもあるかもしれない。